



2021年3月期 第1四半期決算短信(日本基準)(非連結)

2020年8月6日

上場会社名 株式会社イナリサーチ
 コード番号 2176 URL <http://www.ina-research.co.jp/>

上場取引所 東

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 中川賢司

問合せ先責任者 (役職名) 執行役員 管理部門担当 (氏名) 野竹文彦

TEL 0265-72-6616

四半期報告書提出予定日 2020年8月6日

配当支払開始予定日

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 2021年3月期第1四半期の業績(2020年4月1日～2020年6月30日)

(1) 経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

| | 売上高 | | 営業利益 | | 経常利益 | | 四半期純利益 | |
|---------------|-----|------|------|---|------|---|--------|---|
| | 百万円 | % | 百万円 | % | 百万円 | % | 百万円 | % |
| 2021年3月期第1四半期 | 384 | 29.0 | 74 | | 82 | | 82 | |
| 2020年3月期第1四半期 | 540 | 75.7 | 38 | | 45 | | 46 | |

| | 1株当たり四半期純利益 | 潜在株式調整後1株当たり四半期純利益 |
|---------------|-------------|--------------------|
| | 円 銭 | 円 銭 |
| 2021年3月期第1四半期 | 27.36 | |
| 2020年3月期第1四半期 | 15.56 | |

(2) 財政状態

| | 総資産 | 純資産 | 自己資本比率 | 1株当たり純資産 |
|---------------|-------|-----|--------|----------|
| | 百万円 | 百万円 | % | 円 銭 |
| 2021年3月期第1四半期 | 3,576 | 716 | 20.0 | 238.91 |
| 2020年3月期 | 3,466 | 798 | 23.0 | 266.28 |

(参考)自己資本 2021年3月期第1四半期 716百万円 2020年3月期 798百万円

2. 配当の状況

| | 年間配当金 | | | | |
|--------------|--------|--------|--------|------|------|
| | 第1四半期末 | 第2四半期末 | 第3四半期末 | 期末 | 合計 |
| | 円 銭 | 円 銭 | 円 銭 | 円 銭 | 円 銭 |
| 2020年3月期 | | 0.00 | | 0.00 | 0.00 |
| 2021年3月期 | | | | | |
| 2021年3月期(予想) | | 0.00 | | 0.00 | 0.00 |

(注)直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2021年3月期の業績予想(2020年4月1日～2021年3月31日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

| | 売上高 | | 営業利益 | | 経常利益 | | 当期純利益 | | 1株当たり当期純利益 |
|-----------|-------|------|------|------|------|------|-------|-----|------------|
| | 百万円 | % | 百万円 | % | 百万円 | % | 百万円 | % | 円 銭 |
| 第2四半期(累計) | 1,364 | 7.8 | 91 | | 105 | | 107 | | 35.70 |
| 通期 | 3,250 | 13.5 | 76 | 23.7 | 48 | 60.8 | 38 | 6.0 | 12.93 |

(注)直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

注記事項

(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無

以外の会計方針の変更 : 無

会計上の見積りの変更 : 無

修正再表示 : 無

(3) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)

| | | | |
|------------|-------------|----------|-------------|
| 2021年3月期1Q | 2,998,800 株 | 2020年3月期 | 2,998,800 株 |
|------------|-------------|----------|-------------|

期末自己株式数

| | | | |
|------------|---|----------|---|
| 2021年3月期1Q | 株 | 2020年3月期 | 株 |
|------------|---|----------|---|

期中平均株式数(四半期累計)

| | | | |
|------------|-------------|------------|-------------|
| 2021年3月期1Q | 2,998,800 株 | 2020年3月期1Q | 2,998,800 株 |
|------------|-------------|------------|-------------|

四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に掲載されている業績の見通し等の将来に関する記述は、当社が現時点において入手可能な情報に基づいて作成しておりますが、実際の業績等は様々な要因により予想と異なる結果となる場合があります。業績予想に関する事項は、3ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報(4)業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご参照願います。

○添付資料の目次

| | |
|---------------------------------|---|
| 1. 当四半期決算に関する定性的情報 | 2 |
| (1) 経営成績に関する説明 | 2 |
| (2) 財政状態に関する説明 | 2 |
| (3) 新型コロナウイルス感染症に関するリスク情報 | 3 |
| (4) 業績予想などの将来予測情報に関する説明 | 3 |
| 2. 四半期財務諸表及び主な注記 | 4 |
| (1) 四半期貸借対照表 | 4 |
| (2) 四半期損益計算書 | 5 |
| 第1四半期累計期間 | 5 |
| (4) 四半期財務諸表に関する注記事項 | 6 |
| (継続企業の前提に関する注記) | 6 |
| (株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記) | 6 |
| (セグメント情報等) | 6 |

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

新型コロナウイルスの世界的拡大は、様々な影響を顕在化させ国民の生活様式にも変化を求めるに至っております。とりわけ新型コロナウイルスへのワクチン開発では、大手製薬会社や大学等が活発な動きを見せ、新薬開発市場への注目は続いております。

当社の主要顧客である製薬会社の研究開発テーマは、従来テーマに加え感染症治療薬などの開発需要も加わり、またAI創薬や過去情報利用による新たな創薬手法の登場など、各社の差別化戦略を伴い変化と広がりを見せております。

このような中、第1四半期会計期間は、受託試験事業においては、報告書提出が翌四半期会計期間以降へ繰越となる試験が多く、売上は前年同四半期に比べ減少となりました。これは、委託者においては、新型コロナウイルス感染防止対策で、政府による緊急事態宣言（2020年4月7日）もあり、研究所の一時休止やテレワーク対応等により業務の進捗遅延によって生じたものであります。なお、緊急事態解除宣言（2020年5月25日）以降はテレワーク等継続しているものの徐々に回復しております。

一方、前期末の高い受注残高と当期に入っても新型コロナ感染拡大前と同程度以上の受注を継続しており、稼働率向上による個々の試験原価の引下げと、試験現場の生産性向上に向けた取組によるコスト削減効果により収益性は向上しております。しかしながら、上記理由で売上試験が少なくこと及び営業代理会社への支払手数料のため、新型コロナウイルス感染拡大防止につき営業活動の縮小による営業経費は減少したものの、利益は前年同四半期に比べ減少となりました。

また、環境事業においては、大学・民間企業の動物関連施設の多くが更新時期を迎えることで、理化学機器販売会社等と連携し大型工事の取込みを継続しており成約に結びついております。また、新型コロナウイルス対策で有効の微酸性電解水生成装置及び関連品への関心は高く、さらに販売数の増加を見込んでおります。

なお、当第1四半期会計期間においては、微酸性電解水生成装置等の小口の商品が主な売上のため、大型工事の引き渡しがあった前年同期に比べ減少となりました。

以上の結果、売上高は384,003千円（前年同四半期比29.0%減）、営業損失は74,374千円（前年同四半期は営業損失38,989千円）、経常損失は82,074千円（前年同四半期は経常損失45,863千円）、四半期純損失は82,074千円（前年同四半期は四半期純損失46,679千円）となりました。

セグメントごとの経営成績は次のとおりであります。

(受託試験)

当事業部門におきましては、当社が他CROとの差別化を図っているSEND対応サービス及び海外CROの特色ある試験への仲介サービスは実績を積み重ねておりますが、新型コロナウイルスの感染防止対策で委託者都合によって報告書提出が翌四半期会計期間以降に延期された試験が多く、また営業代理会社への支払手数料により、売上高は372,830千円（前年同四半期比19.7%減）、営業損失は68,288千円（前年同四半期は営業損失48,626千円）となりました。

(環境)

当事業部門におきましては、新型コロナウイルスに有効の微酸性電解水生成装置等の商品販売が中心で大型工事の引き渡しが無く、売上高は11,172千円（前年同四半期比85.4%減）、営業損失は6,085千円（前年同四半期は営業利益9,636千円）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

(流動資産)

当第1四半期会計期間末における流動資産の残高は1,998,815千円となり、前事業年度末に比べ78,922千円増加しました。主な内訳は、売上債権の回収による受取手形及び売掛金の減少359,920千円並びに現金及び預金の増加158,667千円、受注残高の増加に伴う仕掛品の増加201,266千円並びに原材料及び貯蔵品の増加58,013千円であります。

(固定資産)

当第1四半期会計期間末における固定資産の残高は1,577,449千円となり、前事業年度末に比べ30,664千円増加しました。主な要因は、設備投資等による有形固定資産の増加20,040千円によるものであります。

(流動負債)

当第1四半期会計期間末における流動負債の残高は1,784,192千円となり、前事業年度末に比べ144,453千円増加しました。主な内訳は、返済の実行による短期借入金の減少100,000千円、受注残高の増加による前受金の増加254,233円であります。

(固定負債)

当第1四半期会計期間末における固定負債の残高は1,075,607千円となり、前事業年度末に比べ47,207千円増加しました。主な内訳は、新規借入れ等による長期借入金が増加54,960千円であります。

(純資産)

当第1四半期会計期間末における純資産の残高は716,464千円となり、前事業年度末に比べ82,074千円減少しました。これは、四半期純損失の計上に伴う利益剰余金の減少によるものであります。

(3) 新型コロナウイルス感染症に関するリスク情報

直接的な影響として、報告書の提出遅延による売上計上の遅延があります。これは、最終報告書提出に際し、委託者との意見集約にむけた連絡に新型コロナウイルス感染拡大以前と比べて著しく時間を要し、その結果検証時間の延長であります。緊急事態解除宣言以降、研究所の一時休止も再開され、テレワークの定着化等により時間短縮されてきております。なお、この影響は徐々に縮小され会計期間末には解消されると見込んでおります。これは、大手製薬会社や大学等の予算執行の制度上、事業年度末(3月)には完了を求められることによるものであります。

試験受注では、堅調に受注が確保できております。

また、環境事業を含め必要資材は、十分な在庫を保有しており、サプライチェーンも確保されており、今後とも懸念は少ないものと見込んでおります。

社員への感染拡大防止策として、全従業員の日々の健康チェック、社員のマスク着用や新型コロナウイルス対策に有効とされる微酸性電解水による手洗いの励行、執務机毎のビニールバリアードの設置等を継続して実施しております。

幸いにも長野県内における発生が限定的であること、必要資材も十分確保できていることから、受託試験の遂行に障害は生じておりませんが、引続き感染防止対策を進め、万が一災害が発生した場合にも、人的、物的被害を最小にすべく、総合的なリスク対策を進めてまいります。

以上のとおり、現段階では、売上が四半期での遅延はあるものの、会計年度末までには解消される見込みであること、受託試験の実施状況、環境事業を含め資材の調達等にも影響がないことから、現段階では当該事象が業績に重要な影響を与えないものと想定しております。しかしながら新型コロナウイルス感染の影響は、経済面だけでなく、社会全般に及んでいることから、今後の推移が想定と異なる場合、経営成績や財務状況に影響を及ぼす可能性があります。その場合、適時適切にその内容を開示いたします。

(4) 業績予想などの将来予測情報に関する説明

業績予想につきましては、上記「(3) 新型コロナウイルス感染症に関するリスク情報」に記載しましたとおり、足元の稼働状況は高く、引き続き計画達成を見込んでいることから、2020年5月13日に公表いたしました数値から修正は行っておりません。

2. 四半期財務諸表及び主な注記

(1) 四半期貸借対照表

(単位：千円)

| | 前事業年度 (2020年3月31日) | 当第1四半期会計期間 (2020年6月30日) |
|---------------|-----------------------|----------------------------|
| 資産の部 | | |
| 流動資産 | | |
| 現金及び預金 | 463,751 | 622,418 |
| 受取手形及び売掛金 | 441,109 | 81,189 |
| 商品及び製品 | 889 | 892 |
| 仕掛品 | 605,712 | 806,978 |
| 原材料及び貯蔵品 | 251,135 | 309,149 |
| その他 | 157,295 | 178,187 |
| 流動資産合計 | 1,919,893 | 1,998,815 |
| 固定資産 | | |
| 有形固定資産 | | |
| 建物及び構築物 | 3,082,250 | 3,116,067 |
| 減価償却累計額 | △2,488,467 | △2,500,201 |
| 建物及び構築物 (純額) | 593,782 | 615,866 |
| 土地 | 613,912 | 613,912 |
| その他 | 1,005,972 | 977,760 |
| 減価償却累計額 | △726,690 | △700,522 |
| その他 (純額) | 279,282 | 277,238 |
| 有形固定資産合計 | 1,486,976 | 1,507,016 |
| 無形固定資産 | 20,238 | 31,431 |
| 投資その他の資産 | | |
| その他 | 40,469 | 39,900 |
| 貸倒引当金 | △900 | △900 |
| 投資その他の資産合計 | 39,569 | 39,000 |
| 固定資産合計 | 1,546,784 | 1,577,449 |
| 資産合計 | 3,466,677 | 3,576,264 |
| 負債の部 | | |
| 流動負債 | | |
| 支払手形及び買掛金 | 306,972 | 331,191 |
| 短期借入金 | 100,000 | — |
| 1年内返済予定の長期借入金 | 100,000 | 120,040 |
| 未払法人税等 | 10,509 | 2,526 |
| 前受金 | 768,817 | 1,023,051 |
| 賞与引当金 | 74,155 | 37,098 |
| 受注損失引当金 | 3,128 | 4,690 |
| その他 | 276,153 | 265,595 |
| 流動負債合計 | 1,639,738 | 1,784,192 |
| 固定負債 | | |
| 長期借入金 | 800,000 | 854,960 |
| その他 | 228,399 | 220,647 |
| 固定負債合計 | 1,028,399 | 1,075,607 |
| 負債合計 | 2,668,138 | 2,859,800 |
| 純資産の部 | | |
| 株主資本 | | |
| 資本金 | 684,940 | 684,940 |
| 資本剰余金 | 600,940 | 600,940 |
| 利益剰余金 | △487,340 | △569,415 |
| 株主資本合計 | 798,539 | 716,464 |
| 純資産合計 | 798,539 | 716,464 |
| 負債純資産合計 | 3,466,677 | 3,576,264 |

(2) 四半期損益計算書
(第1四半期累計期間)

(単位:千円)

| | 前第1四半期累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年6月30日) | 当第1四半期累計期間 (自 2020年4月1日 至 2020年6月30日) |
|--------------|---|---|
| 売上高 | 540,511 | 384,003 |
| 売上原価 | 438,604 | 286,446 |
| 売上総利益 | 101,907 | 97,556 |
| 販売費及び一般管理費 | 140,896 | 171,930 |
| 営業損失(△) | △38,989 | △74,374 |
| 営業外収益 | | |
| 受取賃貸料 | 768 | 1,236 |
| 補助金収入 | 150 | 330 |
| その他 | 60 | 40 |
| 営業外収益合計 | 979 | 1,607 |
| 営業外費用 | | |
| 支払利息 | 6,838 | 7,271 |
| 為替差損 | 401 | 399 |
| その他 | 612 | 1,637 |
| 営業外費用合計 | 7,852 | 9,308 |
| 経常損失(△) | △45,863 | △82,074 |
| 税引前四半期純損失(△) | △45,863 | △82,074 |
| 法人税、住民税及び事業税 | 816 | — |
| 法人税等合計 | 816 | — |
| 四半期純損失(△) | △46,679 | △82,074 |

(3) 四半期財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第1四半期累計期間(自2019年4月1日至2019年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

| | 受託試験 | 環境 | 合計(注) |
|-----------------------|---------|--------|---------|
| 売上高 | | | |
| 外部顧客への売上高 | 464,096 | 76,414 | 540,511 |
| セグメント間の内部売上高 又は振替高 | — | — | — |
| 計 | 464,096 | 76,414 | 540,511 |
| セグメント利益又は 損失(△) | △48,626 | 9,636 | △38,989 |

(注) セグメント利益又は損失の合計額は、四半期損益計算書上の営業損失であります。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

II 当第1四半期累計期間(自2020年4月1日至2020年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

| | 受託試験 | 環境 | 合計(注) |
|-----------------------|---------|--------|---------|
| 売上高 | | | |
| 外部顧客への売上高 | 372,830 | 11,172 | 384,003 |
| セグメント間の内部売上高 又は振替高 | — | — | — |
| 計 | 372,830 | 11,172 | 384,003 |
| セグメント損失(△) | △68,288 | △6,085 | △74,374 |

(注) セグメント損失の合計額は、四半期損益計算書上の営業損失であります。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。